

村っ子モニター隊 第1回モニター調査結果「しあわせの村の印象について」 (平成27年6月30日～7月12日実施)

”市民福祉”を実現していくためには、市、事業者、及び市民が、それぞれの役割と責務を果たすことが重要となります。「しあわせの村」は、その”市民福祉”を実践していく場として平成元年にオープンしました。「しあわせの村」は、高齢者や障がいのある方の自立と社会参加を支援する施設、また誰もが利用しやすいレクリエーション施設、緑豊かな公園施設などが総合的に整備され、すべての市民が交流し、楽しんでいただける「総合福祉ゾーン」を目指しています。

問1 「しあわせの村」が目指している「総合福祉ゾーン」という役割をご存じでしたか？

	人数	割合
知っていた	30	73.2%
知らなかった	8	19.5%
無回答	3	7.3%
合計	41	100.0%

問2 実際には、「しあわせの村」をどのような施設だと思ってご利用いただいていますか？
また、そう答えた理由も教えてください。

	人数	割合
福祉や医療のための施設	14	34.1%
宿泊やキャンプなどのためのレジャー施設	6	14.6%
スポーツや健康維持のための公園施設	14	34.1%
その他(上記以外)	7	17.1%
無回答	0	0.0%
合計	41	100.0%

「福祉や医療のための施設」と答えた理由

- ・福祉施設が多くあるから
- ・障がい者や高齢者が安心して利用できる施設が多く、バリアフリーが行き届いているので。
- ・障がい者も気軽に利用できる施設だと思います。

「宿泊やキャンプなどのためのレジャー施設」と答えた理由

- ・自分がしあわせの村に行くのが、レジャーで行くことが多いので。
- ・毎年、キャンプなどで利用させていただいている。

「スポーツや健康維持のための公園施設」と答えた理由

- ・週に何回かウォーキングに利用している。
- ・芝生広場、アスレチック、ランニング周回コース、体育館等の健康維持出来るように設計されているため

「その他(上記以外)」と答えた理由

- ・誰でも気軽にリーズナブルにレジャー・スポーツ・カルチャー会場・宿泊施設とし利用できる所。
- ・単なる広く(神戸市民に限らず)市民の憩い施設と思っていました。

問3 「総合福祉ゾーン」としての「しあわせの村」の良いところはどんなところですか？

- ・全体的に、バリアフリーなど、高齢者や、体の不自由な方に優しい作り。

- ・ 障がいのある方の自立を目指して村内の業務に従事されているところ。
- ・ 日本庭園もあり、自然の中で四季の移ろいを感じることができる。また、広場があり、犬も一緒に家族連れで一日中、自然を肌で感じながら過ごせる。
- ・ ひろくて いろいろな人が楽しそう
- ・ 子供から高齢者まで、安心して遊べる(過ごせる)ことが一番良いと思います。

問4 「総合福祉ゾーン」としての「しあわせの村」の悪いところはどんなところですか？

- ・ 駐車場の空きが分かりづらく、結構グルグル回られるのをなんとかしてほしい。
- ・ 「総合福祉ゾーン」について、市民に知れ渡っていない。そもそもの設立趣旨、利用方法が知れ渡っていない。一部知っている人のみ利用している印象。
- ・ 車のない人には不便です、バスを利用するにも灘区や東灘区からでは交通費が高くなります。
- ・ 福祉ゾーンとしての活動が余り見えない。

問5 最近1か月間に「しあわせの村」をご利用いただきましたか？

	人数	割合
はい	32	78.0%
いいえ	8	19.5%
無回答	1	2.4%
合計	41	100.0%

「はい」と答えた方の利用方法

- ・ 食事、日本庭園散歩、ウォーキング、プール、温泉、アスレチック。

問6 その他、今回の調査で感じたこと、普段しあわせの村をご利用いただくなかでお気づきのことなど、自由にご意見をお書きください。

- ・ 困っているのは、駐車場で、幅が狭い。駐車料金が低い。無料とまでは言わないが、一日100円程度に。
- ・ 芝生に日陰が少ない。散策コースにベンチが見当たらない。
- ・ しあわせの村のPRが十分出来てないように思います。様々なイベントが開催されているが、市民へのPRが不足している。
- ・ 福祉ゾーンをもっと積極的にアピールすれば、スポーツでの健康増進+福祉でほんとうのしあわせの村になるとおもいます